

アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流 (キズナ強化プロジェクト)



～青少年国際交流を通じた復興への貢献～

被災地訪問プログラムの企画

1. 概要

アジア大洋州・北米地域(41ヶ国・地域)との間で、1万人以上の青少年(高校生・大学生等)交流を実施。
高校・大学交流・地域交流・ボランティア活動等を通して、被災・復興経験を共有し、日本再生に関する外国の理解を増進すると共に、被災地の復興に貢献する。

2. 被災地訪問

国際社会への正しい情報発信

日本の力強い復興の姿、また日本各地の魅力を海外に発信することを促し、
日本への風評払拭の一助とする。

地域・街づくりへの貢献

学校交流・ボランティア活動への参加や
被災地の教育・産業・観光リソースと連携した多様なプログラムを実施し、復興を支援する。

被災・復興経験の共有を通じた海外との絆の強化

未曾有の大震災の経験を国際社会と共有するとともに、
交流を通して海外からの応援の気持ちを伝え、被災地と各国との絆を強める。

3. 実施期間: 平成24年～平成25年3月末まで

4. 対象国・地域:

ASEAN10 各国、SAARC8 各国、米国、カナダ、中国、韓国、モンゴル、台湾、豪州、ニュージーランド、東ティモール、太平洋島嶼国14 各国・地域等

招聘事業

短期 (原則14日間、約9,710名)

【対象】①アジア大洋州:高校生・大学生等 ②北米:高校生

【プログラム内容】

被災復興講義、**3泊4日の被災地訪問プログラム**(高校・大学交流、地域交流、ボランティア活動、視察、産業体験等)、他地域でのホームステイ、学校交流、市民交流、視察、等

長期 (原則1年、約250名)

【対象】アジア大洋州:高校生・大学生等

【プログラム内容】

一般家庭でのホームステイからの通学、**滞日中に3回の被災地訪問プログラム**(ボランティア活動、地域交流、視察、産業体験等)

派遣事業

短期 (原則14日間、約2,495名)

【対象者】①アジア大洋州:被災地の高校生・大学生等

②北米:被災地の高校生

【プログラム内容】

英語研修(北米のみ)、文化体験、高校・大学交流、ホームステイ、視察、復興に関するプレゼンテーション等

長期 (6ヶ月以上、約200名)

【対象】北米:被災地の大学生・大学院生等

【プログラム内容】

英語研修、ビジネス慣習研修、文化体験、インターンシップ等、復興についてのプレゼンテーション等

実施体制:日本政府より本事業費を関係国際機関(財)日中友好会館、(財)日韓文化交流基金、ASEAN事務局、SAARC事務局、南太平洋大学、日米教育委員会、UNESCO等)に対して拠出。必要に応じて日本国内の国際交流団体に委託。財団法人日本国際協力センター(JICE・ジャイス)は、各国際機関との契約の元、被災地訪問プログラム(原則3泊4日)を実施する。

平成24年3月29日 財団法人日本国際協力センター